

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語聴覚障害診断学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学 期	前期	教室名	702・603・聴検室・相談室
担 当 教 員	高木 志穂				
実務経験とその関連資格	<p>言語聴覚士として小児の医療福祉センターで入院している肢体不自由児・者への摂食嚥下、コミュニケーションのリハビリテーションに従事。外来では神経発達症(知的能力障害、自閉スペクトラム障害、限局性学習障害等)や肢体不自由児への摂食嚥下、言語・コミュニケーションのリハビリテーションを行う。 その後、市立児童発達支援センターで相談業務、神経発達症や肢体不自由児の通所事業への支援、子ども園、小学校への巡回相談、定期健診後のフォロー、個人宅への訪問支援等を経て現職。</p>				
《授業科目における学習内容》					
小児のコミュニケーションの問題を評価するためにどんな視点が必要か、その知識を学習し、それを基に具体的な訓練方法を考える。					
《成績評価の方法と基準》					
レポート60% 定期試験40%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
①標準言語聴覚障害学「言語発達障害学」第3版 ②標準言語聴覚障害学「言語聴覚療法 評価・診断学」					
《授業外における学習方法》					
対応箇所の教科書を読む。					
《履修に当たっての留意点》					
9月からことばの相談室が始まります。そのために活用できる知識をお伝えしていきたいと思います。子どもたちと楽しく遊ぶ中で専門家としての視点を養うための基礎知識をつけていきましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	診断の流れを知る。面談の留意事項を理解する。	教科書/レジюме	教科書の該当箇所を読む。	
	各コマにおける授業予定	評価・診断とは何か。①診断までの流れ②面談とは？			
第2回	授業を通じての到達目標	評価診断の基本概念と評価の技法について理解する。	教科書/レジюме	教科書の該当箇所を読む。	
	各コマにおける授業予定	客観的な評価法(様々な検査法の概略を理解する)			
第3回	授業を通じての到達目標	実際の子どもの様子を学ぶ。/小児の検査を実施できるようになる。	教科書/レジюме	教科書の該当箇所を読む。	
	各コマにおける授業予定	評価方法(検査演習)			
第4回	授業を通じての到達目標	小児の検査を実施できるようになる。	教科書/レジюме	教科書の該当箇所を読む。	
	各コマにおける授業予定	評価方法(検査演習)			
第5回	授業を通じての到達目標	小児の検査を実施できるようになる。	教科書/レジюме	教科書の該当箇所を読む。	
	各コマにおける授業予定	評価方法(検査演習)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	小児の検査を実施できるようになる。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	評価方法(検査演習)		
第7回	授業を通じての到達目標	小児の検査を実施できるようになる。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	評価方法(検査演習)		
第8回	授業を通じての到達目標	発達 の階層性を理解する。感覚とは何かを理解する。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	神経心理学的な発達の見方(感覚統合の考え①)		
第9回	授業を通じての到達目標	感覚を統合する意味を理解する。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	神経心理学的な発達の見方(感覚統合の考え②)		
第10回	授業を通じての到達目標	言語学的4側面を理解し、語用論とは何かを理解する。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	言語獲得理論としての語用論とINREALアプローチ概論		
第11回	授業を通じての到達目標	語用論的なアプローチとは何かを理解する。ビデオ分析の方法を学習する。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	INREALアプローチ概論(演習)		
第12回	授業を通じての到達目標	トランスクリプトを作成し、子どもの反応を評価することができるようになる。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	INREALアプローチ概論(演習)～グループワーク・ビデオ分析～		
第13回	授業を通じての到達目標	トランスクリプトを作成し、子どもの反応を評価することができるようになる。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	INREALアプローチ概論(演習)～グループワーク・ビデオ分析～		
第14回	授業を通じての到達目標	グループワーク発表を聞き演習を振り返り、演習課題を理解する。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	グループワーク発表・まとめ		
第15回	授業を通じての到達目標	ことばの相談室実習を見学し、実際の子どもの様子を学習する。	教科書/レジュメ	教科書の該当箇所を読む。
	各コマにおける授業予定	実際の子どもの様子を観察し評価の視点を養う		